

令和4年度 指定管理施設運営状況評価表

1. 施設の概要

施設の名称	むつ市脇野沢リフレッシュセンター鱈の里	
指定管理者	団体名	一般社団法人むつ市脇野沢農業振興公社
	代表者	理事長 小 田 晃 廣
	所在地	むつ市脇野沢七引201番地5
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年間）	
指定管理業務の概要	(1) 交流事業等による地域の活性化 (2) 施設、設備の提供 (3) 施設の使用許可、使用に係る料金徴収 (4) 施設の維持及び修繕	

2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。

単位：千円

区 分	計 画 額 ①	実 績 額 ②	増 減 (②-①)
収 入 合 計 (A)	8,049	8,252	203
うち利用料金額	0	0	0
うち指定管理料	8,049	8,252	203
支 出 合 計 (B)	8,049	7,211	△838
うち人件費	4,158	4,227	69
収支差 (A-B)	0	1,041	1,041
市への納入金	0	0	0
計画額と比較した実績額の増減理由	・修繕費、消耗品費等の経費節減による減		

3. 施設利用の状況

単位：人

	区 分	計 画 ①	実 績 ②	増 減 (②-①)
利用者数	鱈の里入館者数	30,000人	11,828人	△18,172人
	調理実習室利用日数	0日	0日	0日
利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施（有・ <u>無</u> ） <ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染症対策を行いながら施設の運営に努めました。 ・利用者へは、脇野沢地区やむつ・下北の観光案内を行った。 ・8月の豪雨により、国道が通行止めになった影響で利用者の減少となった。 				

4. 自主事業の実施業況

単位：人、千円

事業名	利用者数	収入	支出
物産販売事業（4/1～11/30）	5, 8 4 5	5, 2 5 5	3, 8 9 7

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価（A：優良 B：適正 C：改善要）

評価項目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
①開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	B	B
②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	B	B
④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	B	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	B	B
②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	B	B
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	B	B
②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	B	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	B	B
③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	B	B
④利用料金の収受及び施設管理費の支出は適正であったか。	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	B	B
②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	B	B
③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	B	B
④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B

6. 指定管理者総合評価

リフレッシュセンター鱈の里は、「道の駅わきのさわ」としても利用されており、来訪者が気持ち良く利用できるよう花壇の手入れを行い、環境整備に努めた。
また、新型コロナウイルス感染症対策を行い、観光客等へニホンザルやカマイルカのPRに努めるとともに漁師カードを使い、地元水産加工物のPRも行った。

7. 市の所管課総合評価

施設内は清潔に保たれており周辺の環境整備にも努め、利用者が心地よく利用していただける環境が保たれていた。また、令和4年度は新型コロナウイルス感染症対策として施設利用制限を実施、8月の豪雨災害により国道が通行止めされた影響を受けた中でも、観光客等へ地域ならではの野生動物のPRや漁師カードを利用した地元水産加工物のPRを積極的に行い集客に努めていた。今後はアフターコロナにおける観光客への更なるPRや販売促進に努めていただきたい。